

## 6 17 川村たかし特別展でテープカット ～フキよトックよ永遠に～



ふるさと公園内にある新十津川物語記念館で、町の特別功労者で新十津川物語の原作者である故・川村たかしさんの功績を讃え、ゆかりの品々や原稿、挿絵の原画などを展示した川村たかし特別展が始まりました。

開会式には、奈良県五條市在住で川村さんの妻・喜津子さんも招かれ、植田町長や関係者とテープカットを行いました。

喜津子夫人は「川村は、新十津川は空も空気もみんないいんだって言うていました」と、たかしさんの思いを語りました。

特別展は8月31日(火)まで開催していますので、この機会にぜひご鑑賞ください。



## 6 18 千の風になって

川村たかし先生を偲ぶ会がゆめりあで開かれ、140人が参列しました。

参列者は、川村さんの経歴を紹介したスライドや、作品の朗読を通じて、その功績をあらためて感じ取りました。

新十津川物語記念館を拠点に活動している同人誌ナナカマドの石田佐江さんは「ナナカマドは精神的な支柱を失いましたが、これからも書き続けていきます。千の風になって見守っててください」と話しました。





## 6 27 響き渡れ さわやかなハーモニー

ゆめりあで第31回北空知コーラス団体合同演奏会が開かれ、アザレアコーラスやスノーグリーなど11団体248人が全40曲を熱唱しました。

開会にあたり熊田教育長は「開町120年の今年、コーラスが花を添えてくれることに感謝します。コーラスには、心を癒したり、悲しみを慰めたりしてくれる力があると思います」と祝辞を述べました。

演奏会は、各団体の発表だけでなく、女声コーラス6団体で歌う『夏の思い出』や、混声コーラス4団体で歌う『アメイジング・グレイス』も披露され、来場者に普段とは違ったハーモニーを届けました。

## 6 6 歩いて歩いて健康づくり

いつでも、どこでも、だれでも取り組めるウォーキングを通じて健康づくりに励んでもらおうと、札幌から健康運動実践指導者の金札絵里香さんかなふたを招いて、改善センターでウォーキング基本講座が開催されました。

参加した47人は、金札さんからいすに座ったままできる準備運動や水分の上手な取り方、正しい歩き方を教わった後、徳富川の築堤など4.6kmを歩いて、心地よい汗を流しました。



## 6 7-11 国家公務員研修生来たる

今年4月から上級国家公務員として働いている総務省の原山幸一郎さんつかさ(右)、法務省の林毅さん(中央)、農林水産省の市川典さん(左)が本町で研修を受けました。

3人は、地方における産業振興や福祉の課題についての講義を受けたり、戸籍や税務の窓口業務を体験しました。また、まちづくり懇談会や行政区の役員会にも参加して、地域の実情を肌身で感じました。

原山さんは「新十津川は良いところですね。また来てみたいです」と話していました。

